

3期生のみなさん、入学おめでとうございます。皆さんのMOISへの入学を心から歓迎し、中等教育学校生活が始まることを祝福したいと思います。この時期は、人生の中で「体力」「精神力」「学力」などの基礎的な力が最も伸びる時期だと思います。この時期に身に付けなければ一生身に付かないこともたくさんあるのではないのでしょうか。今日から始まる6年間で、充実した楽しい学びの中でそれぞれが鍛えられ、意義のある6年間になることを祈っています。毎日の学校生活を大切にしながら、大きな成長ができるように頑張ってください。

2期生のみなさん、進級おめでとうございます。2年生は、前期課程の中で、最も充実の年と言えるのではないのでしょうか。何もかもが初めてだった1年生での生活に比べ、学習や日常生活、行事などの1つ1つを1年間の経験を生かして充実させていきたいものです。そんな2年生に、まず、意識してほしいことは、「先輩になる」ということと「心と体をさらに鍛える」ということです。新入生を迎え、皆さんは先輩になりました。1年前を振り返り、どのような先輩が尊敬できる先輩であったか、思い出してみましょう。尊敬できる先輩は、言葉で教える先輩ではなく、行動で立派な手本を示す先輩であったと思います。後輩に背中から教える先輩でありたいものです。



1期生のみなさん、進級おめでとうございます。いよいよ義務教育最後の一年が始まります。3年生の生活は、前期課程の中で最も楽しく、輝いたものになる人が多くなるはずです。それは、一つ一つのことに、これまで以上に高いレベルで真剣に取り組む充実感があるからです。実際、多くの大人が中学時代を語るとき、まず、3年生の一年間を記憶として呼び起こすものです。これまでの2年間で、私たちは、たくさんの種を蒔き、たくさんの芽を出してきたと思います。一人一人の個性に応じた美しい花がたくさん咲く年の始まりを、心から楽しみにしています。

さて、本校ホームページには、校長による始業式での講話、入学式での式辞を掲載しております。是非ともご覧ください。(学校だより3ページ、4ページにも掲載しています。)

TOPIC 1

・始業式の様子です。クラス替え後の式にも落ち着いて臨むことができました。いよいよ新年度が始まります。



・3期生の入学式の様子です。MOIS前期課程の3学年がそろいました。学校生活もより賑やかになっていきます。



TOPIC 2

新年度を機に、本校から転出された先生方を紹介します。

副校長	金井 信也	埼玉県立日高特別支援学校へ転任
副校長	根岸 君和	さいたま市教育委員会へ転任
英語	阿部 瑠美	さいたま市立常盤中学校へ転任
体育	小原 浩美	さいたま市立植竹中学校へ転任
養護	樋口 晃美	さいたま市立中尾小学校へ転任

【2021年度 教職員】

1	校長	—	関田 晃	32	3 年 3, 4 組担任	個人と社会	小川 玲
2	副校長	—	田嶋 真二	33		LA	久保田 Jennifer
3	教頭	—	難波 孝史	34		科学	鈴木 勝真
4	IB コーディネータ	LA	Brad Semans	35	3 年副担任	LA	清水 沙奈
5	教務部主任	数学	武石 涼	36		芸術	高見 藍
6	生徒指導部主任	個人と社会	福島 知明	37		数学	中村 一雅
7	保健衛生部主任	科学	井藤賀 裕美	38	DP 準備 研修生 ALT	言語と文学	三輪 香織
8	1 年主任	言語と文学	中田 千穂	39		個人と社会	青木 翔
9	1 年 1,2 組担任	数学	風間 貴大	40		科学	田村 守行
10		LA	木下 達哉	41		芸術	丸山 阿里
11		芸術	武藤 麗子	42		LA	Krishan Sabaragamuwa
12	1 年 3,4 組担任	科学	木村 佑介	43		言語と文学	柴田 深月
13		数学	佐藤 裕一	44		科学	長井 優典
14		LA	和田 牧子	45		LA	Matthew Shannon
15	1 年副担任	個人と社会	田嶋 陽	46		非常勤	LA
16		LA	Marc Lascano	47	芸術		地引 千佳子
17		保健体育	本郷 舞子	48	デザイン		仲摩 泰範
18	2 年主任	数学	沖田 丈尚	49	初任者指導	LA	名渡山 睦
19	2 年 1,2 組担任	LA	天坂 文	50		保健体育	横尾 雅実
20		科学	窪田 悠	51	養護教諭	—	小原 郁美
21		個人と社会	松田 祐輝	52		—	越智 茉央里
22	2 年 3,4 組担任	LA	明海 真美	53	事務職員	—	示野 宏作
23		保健体育	加藤 俊介	54		—	齋藤 智美
24		言語と文学	川上 由貴	55	養護教諭 司書・IB 研究部	—	鹿沼 航貴
25	2 年副担任	デザイン	今溝 啓太	56		—	矢野 智美
26		デザイン	酒井 裕美	57	栄養士 さわやか相談員 スクールソーシャルワーカー	—	古川 真樹子
27		保健体育	村林 優	58		—	足立 聖子
28	3 年主任	言語と文学	佐々木 優介	59		—	岩田 伸太郎
29	3 年 1,2 組担任	言語と文学	有村 佳良子	60	用務員	—	菊地 哲人
30		保健体育	平野 大樹	61	用務員	—	松本 由子
31		LA	Royal Langer	62	用務員	—	中嶋 春美
				63	用務員	—	渋谷 雅明

2021年度 第3回入学式 校長式辞

ただいま入学を許可しました160名の皆さん、御入学おめでとうございます。皆さんにとっておめでたい本校入学は、二つの点において本校にとっても大変めでたいことなのです。

一つ目は、埼玉県内初にして唯一の中等教育学校として3年目を迎えた本校は、皆さんの入学により、前期課程3学年が揃うこととなりました。とてもめでたいことです。

二つ目は、本校は開校以来、国際バカロレアの導入に向けて取組みを進めて来ましたが、つい先週、3月末に国際バカロレア機構からMYPの認定を受け、正式に国際バカロレア校となり、皆さんは、IBワールドスクールとなった本校にとって、初めての入学生となりました。これも実にめでたいことです。

今日から皆さんは、県内で唯一の中等教育学校で、また関東唯一の公立MYP認定校で、さいたま市の教育方針である3つのG、Grit、Growth、Globalを校訓として、これまでにないような様々な形で探究的な学びを深めていきます。皆さんはここで「世界の未来のつくり方」を学ぶのです。その中で皆さんには、「真の学力」「未来の学力」を身につけていってもらいます。それは、自分自身がより良く生きるための学力であり、より良い未来を築くことができる学力です。ここで学ぶ皆さんが進んで行く道は、未来に向かう道です。その未来は、皆さん自身の未来でもあります。それは即ちさいたま市の未来であり、日本の未来であり、世界の未来なのです。

自分の未来でさえ予測するのは難しいのに、世界の未来をつくるなんて、無理なんじゃないか。皆さんはそう思うかも知れません。確かに、明日のことは予測できても、10年後の未来は予測できません。でも、予測できないからと何も考えずに過ごしていると、自分では望まない未来に世界は進んで行ってしまうかも知れません。

では、より良い未来になるための答えはどこにあるのか。正しい答えは「まだ」「どこにも」ありません。その答えを探して、見つけるのは皆さんです。もし見つからなければ、皆さんがその答えを作らなければなりません。

そんな大それたこと、自分にはできるわけない。そんな大変なこと、誰か他の人にやって欲しい。皆さんはそう思うかも知れません。でも、そう思う先に待ち受けているのが、望ましくない未来なのです。

自分の、自分たちの、自分の愛する人たちの未来をあきらめないこと、人任せにしないこと。そして、そのためには自分に何ができるのか、何をすべきなのか。今日からの6年間で一緒に考えて、励まし合って、見つけていきましょう。

そのためにまず、志を高く持ちましょう。そして、その志を実現するために必要な力を、ここ大宮国際中等教育学校で身につけていきましょう。それが「ここで学ぶ、世界の未来のつくり方」ということなのです。

保護者の皆様、改めましてお子様の御入学、誠におめでとうございます。ほっと一息つかれたことと存じます。本校での6年間は、お子様が大人になっていく上で必要な多くの知識を身に付け、経験を重ね、自ら考え自ら行動して、様々な課題に取り組み、これを解決していく姿勢と技量を養っていく鍛錬の時です。私たち教職員一同、我が子を育てる思いで、愛情を込め、時に厳しさを持って、お子様の成長に全力を尽くしてまいります。何卒、学校コミュニティの一員として、保護者の皆様の深い御理解と、温かい御協力をお願い申し上げます。

皆さん、世界はこの1年と数カ月の間、新型コロナウイルスの感染拡大と闘い続けています。その影響は深刻で、多くの方面に及んでいます。今後もしばらくは大変な状況が続くと思いますが、くじけず、いやにならず、あきらめないで、励まし合って乗り切っていきましょう。この困難を乗り切った先には、今よりもっと成長した皆さんの姿が、きっとあるはずです。それを楽しみに、ともに進んでいきましょう。

以上をもちまして、さいたま市立大宮国際中等教育学校第3回入学式の式辞といたします。

2021年4月7日

さいたま市立大宮国際中等教育学校長 関田 晃

2021年度 前期始業式 校長講話

昨年3月2日からの臨時休校、あれから1年1ヵ月あまり、今の状況に慣れてきたとは言え、不自由な生活、素顔で対面できない中での人間関係など、ストレス要因は少なくありません。しかも緊急事態宣言解除後の新規感染者の増加と、それによる「まん延防止」策の実施。大阪では緊急事態宣言下よりも多い、過去最多の新規感染者数を更新しています。これは、何がまずい、誰が悪いということではなく、期待通りにならないことは多いという現実を示しています。現実なんだから逃げるわけにいかない。逃げちゃダメだ、逃げちゃダメだ！エヴァ初号機に乗る碇（いかり）シンジ君も、25年前の1995年に歯を食いしばってそう言いました。逃げられない現実直面して、大きな衝撃を受けたり、絶望したりしても、少しずつでもそれを受け止めて、「だからどうする」と考えなければならない。それはシン・エヴァンゲリオンに限らない。シン・エヴァの話はネタバレになるのではありません。様々な困難な状況でも、前に進めることもあります。ここでは3つの例を紹介します。

1つめ。先日、競泳女子の池江璃花子選手が、日本選手権 100mバタフライで優勝し、東京オリンピック 400mメドレーリレーへの出場権を得ました。去年の9月の朝礼で「病気に打ち勝つ」話をした時に、池江選手の話を話しましたが、白血病のため実戦から離れていた池江選手は、1年半ぶりの東京都の大会に出場しました。それから半年余りでの優勝です。池江選手は泣きじゃくりながらインタビューに答えて、「苦しくてもしんどくても努力は報われるんだなと思いました。」と語りました。白血病をわずらって、絶望する時を経ての優勝だけに、喜びを素直に表現したのでしょうか。でも、私はこのインタビューを見て、それは違うんじゃないかな？と思いました。実際に「まるで敗者は努力をしなかったかのようだ。」池江選手を責めるものではないにせよ、そんな疑問の声も挙がりました。すると、それに応えるように池江選手は、SNSで次のように発信しました。「どんな人も、努力はしていると思います。ただその努力という定義も難しいな、と思います。本気で目指してきたことをたとえ達成できなかったとしても、その努力は必ず誰かが見ていて、誰かが勇気をもらえるのではないのでしょうか。」池江選手はまだ20歳だと思いますが、きちんと返せたことは立派だと思います。でも、私にとってはこうです。「努力は必ずしも報われるとは限らない。むしろ、望む結果をもたらしてくれないことの方が多いと思ってい。けれども、何か困難なことを成し遂げようとした時、努力なしで成し遂げられることはほとんど無い。」校長関田晃の言葉です。

2つめ。3月末に、MOISはMYPミドル・イヤーズ・プログラムの認定校になりました。MOISの取組が、スイスに本部を置く国際バカロレア機構に認められたわけです。これは、皆さんの日々の学習が評価されてのことです。そして、それを支える先生方の取組が評価されてのことです。さらには、MYPによる学習成果を信じて、理解し協力してくれた、皆さんの家族と、先生方の家族のおかげです。コロナ禍にあって、思うような実践や活動が制限されていた中で、みんなよくやったなあとと思います。ここでもう一度言いますが、何か困難なことを成し遂げようとした時、努力なしで成し遂げられることはほとんど無い。

3つめ。今日の午後は、第3回入学式があります。前期課程3学年が揃い、ここにいる全員が「先輩」になります。先月の生徒会選挙を経て、初代生徒会がスタートしました。これから先、MOISがどんな学校に「進化」し「発展」していくのか楽しみです。「退化」「衰退」していくのはイヤだな。それもこれもみんな次第です。MOISはみんなの集合体だと思います。生徒の皆さんだけでなく、保護者の皆さんも、先生方も、一人一人の成長がお互いを刺激し、さらなる成長を生むのだと思います。でも、MOISが成長すること、それ自体は目的ではありません。皆さんによく言うように、何のためにするのか、目的は何なのか、それはとても大事です。本校の存在意義、本校の目的は、MOISで学んだ君たちが、10年後20年後に、世界中の様々なところで、よりよい世界を築くことに貢献していることです。

更にもう一度言います。何か困難なことを成し遂げようとした時、努力なしで成し遂げられることはほとんど無い。しかし、多くの努力が望ましい結果をもたらさないなら、努力することをやめるのか、それでも努力をするのか、それは皆さん次第です。

今週土曜は、いよいよ第1回文化表現発表会です。皆さんのご家族も来校すると思います。さあ、いいところをみせてやろう。それをスタートに、今年も皆さんの成長を楽しみにしています。これからまた1年間、一緒に進んでいきましょう。